

会 議 録

会議の名称		令和4年度第1回小金井市市民健康づくり審議会	
事務局		福祉保健部健康課	
開催日時		令和4年11月2日（水）午後7時～午後7時51分	
開催場所		小金井市保健センター 2階講堂	
出席者	委員	（出席） 小松淳二会長、田川尚子副会長、小森哲夫委員、近藤俊之委員、 田中達志委員、羽田野勉委員、堀江健一委員、 森戸よう子委員、黒米哲也委員、 田中智巳委員、緒方澄子委員、瀬川博昭委員、富永智一委員 深井園子委員	
	事務局	健康課長 石原、健康係長 永井、 健康係主任 斉藤、健康係主任 湯瀬、健康課主事 高橋	
欠席者		西野裕仁委員、	
傍聴の可否		可・不可・一部不可	傍聴者数 0人
会議次第		別紙のとおり	
会議結果		別紙会議録のとおり	
提出資料		添付のとおり	

令和4年度第1回小金井市市民健康づくり審議会会議録

日 時 令和4年11月2日(水) 午後7時00分～午後7時51分

場 所 小金井市保健センター2階 講堂

出席委員 14人

(保健センターでの参加)

会 長	小 松 淳 二 委員	
副会長	田 川 尚 子 委員	
委 員	小 森 哲 夫 委員	近 藤 俊 之 委員
委 員	田 中 達 志 委員	羽 田 野 勉 委員
委 員	堀 江 健 一 委員	森 戸 よう子 委員
委 員	黒 米 哲 也 委員	
委 員	田 中 智 巳 委員	緒 方 澄 子 委員
委 員	瀬 川 博 昭 委員	富 永 智 一 委員
委 員	深 井 園 子 委員	

欠席委員 1人

委 員 西 野 裕 仁 委員

事務局職員

健康課長	石 原 弘 一
健康係長	永 井 桂
健康係主任	芥 藤 祐 太
健康係主任	湯 瀬 晴 彦
健康係主事	高 橋 雄 大

傍 聴 者 0人

(午後7時00分 開会)

○小松会長 皆さん、こんばんは。定刻に少し早いですが、お参加予定の委員の皆さん、お集まりになっているので、始めさせていただきたいと思います。

それでは、ただいまより令和4年度第1回小金井市市民健康づくり審議会を開会させていただきます。

初めに、委員の出欠と配付資料の確認を事務局からお願いします。

○事務局(永井) 事務局でございます。本日の委員の方々の出欠でございますが、西野委員から欠席の御連絡をいただいております。現在、会長を除いた13名の委員の方が御出席となっておりますので、過半数以上の出席をいただいておりますことから、審議会として成立することを御報告いたします。

続きまして、資料の御確認でございます。

まず、事前にお送りさせていただいた資料としまして、本日の次第、それから、右上に資料1となっております小金井市市民健康づくり審議会委員名簿、それから、右上に資料2点と書かれております「小金井市保健福祉総合計画(健康増進計画)策定のためのアンケート調査のご協力をお願い」というタイトルになっておりますアンケート、資料3として、健康増進計画(第2次)概要版を事前にお送りさせていただきました。

事前にお送りさせていただきました資料が不足、またはお手元にないという方いらっしゃいますか。皆さん、お手元にお持ちでしょうか。ありがとうございます。

それ以外に、机上に配付させていただきましたが、当日配付資料としまして、まず右上に当日配付資料と書かれております、タイトルとしては「健康増進計画の改定について」というA4縦1枚の資料、それからその下に、字が小さくてすみません、当日配付資料2としまして、A4の横タイプのもの、健康増進計画改定資料、それから、当日配付資料3としまして、「アンケート調査ご協力をお願い」。事前にお配りした資料と内容は全く同じですが、後で御説明させていただきますが、前回のアンケートから新しく加わったアンケート項目について、分かるように「新規」と印をつけておりますので、事前にお送りしたアンケートとの違いとしては、ここだけになります。続きまして、連絡票と書かれた日程調整の紙と、前回の健康づくり審議会の会議録、それから一番下に緑のカラー刷りの小金井市自殺対策計画概要版ということで、本日、机上に配付させていただきました。皆様のところに資料はおそろいでしょうか。不足の資料とかございますでしょうか。大丈夫ですか。もし、ないようでしたら、おっしゃっていただければと思います。

事務局からは以上です。

○小松会長 ありがとうございます。

では、議事に入る前に、事前に皆様のところへ送付されている前回の議事録案で、御自身の発言内容を確認していただいたと思いますが、訂正をしたいところが訂正どおりになっているかどうか確認していただきたいと思います。

では、この案でよろしい方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

○小松会長 ありがとうございます。もし追加で何か気づいたことがございましたら、終了までに事務局にお願いいたします。

では、新しい委員の紹介について事務局からお願いします。

○事務局(永井) 事務局でございます。資料1の委員名簿を御覧ください。保健所からの御推薦により、新しく委員にお就きいただきました深井委員を御案内させていただきます。名簿の14番です。

すみません、深井委員から、御挨拶をお願いできますでしょうか。

○深井委員 4月に多摩府中保健所に参りました保健対策課長の深井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○小松会長 ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。まず、(1)番、健康増進計画の改定について、事務局からお願いします。

○石原健康課長 それでは、健康増進計画の概要について、事務局、石原から簡単に御説明をさせていただきます。

健康増進計画は6年間の計画となっております。例年、2年度間かけて計画の改定を行っております。それで1年度目は、まず、アンケート調査を行って、現計画の課題の進捗状況などの確認を行って、それから2年度目については、アンケート調査の内容を分析した上で、計画の策定に反映させていくというのが、計画を策定するときの流れとなっております。

今年度が、アンケート調査を実施する年度になってございまして、こちら保健福祉総合計画という形で、福祉分野の各計画を1つにまとめた冊子として策定してございます。こちらの市民健康づくり審議会において御議論いただくのは、保健福祉総合計画のうちの、健康増進計画の部分になってございます。今日、コンサルティングをお願いしている名豊さんに、今日から審議会にも御出席いただきますので、よろしくお願いしたいと思います。

○名豊 谷貝 株式会社名豊の谷貝と申します。よろしくお願いいたします。

○石原健康課長 名豊さんは、健康増進計画だけではなくて保健総合計画の各計画についても、それぞれ担当の方がいらっしゃって、計画づくりをお手伝いいただくことになってございます。

それから、健康づくり、アンケート調査の概要については、経年の変化を見るということもありますので、アンケート調査でなかなかがらっと前回の計画のアンケート調査と、全てを変えるというわけにはいきませんが、計画の中で、一定の達成を見たものなどがあれば、それは外していったり、あるいはこの御時世の中で新たに取り組むべき項目があれば、それはアンケートに付け加えて調査を行って、時代の流れなどに即した計画にしていく必要があると考えてございます。

また、健康増進計画については、東京都や国も類似の計画をつくってございますので、都の計画、国の計画との整合、それから市の中でも、基本構想のような上位計画がございまして、そういった上位計画との整合、それからあと、関連する計画で、例えば、スポーツ推進計画とか自殺対策推進計画のような、健康増進と関わりのある計画類もございまして、そういった計画とも調整を図りながら、策定していく必要があるものでございます。

雑駁でございますが、説明は以上です。

○小松会長 ありがとうございます。

ただいまの事務局の説明で御質問ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、議事の2番目、健康増進計画に係る市民アンケートの項目について、事務局からお願いします。

○事務局 (永井) 事務局でございます。私からは、事前に資料2としてお送りさせていただきました「小金井市保健福祉総合計画（健康増進計画）策定のためのアンケート調査ご協力をお願い」、アンケートの内容について、簡単に御説明させていただきます。

先ほど、資料説明で、当日配付資料3でも同じものを配っていますとお伝えしたのですが、当日配付資料のほうが、どの設問が新規かと書かれていますので、当日配付資料3を見ていただければと思います。

先ほど、石原からも御説明があったとおり、新しい健康増進計画の改定に向けて、市民の方々にアンケート調査をさせていただきます。今回は6年前、平成28年度にアンケート調査を実施させていただきました。そのときのアンケートの結果の数字などを基に、現在の第2次の健康増進計画の指標などにさせていただきます。

基本的に、この6年間の事業の推移などを把握するために、前回と基本的に同じような項目をアンケート内容として設定させていただきましたが、それに加えて、昨年度東京都が実施したアンケートなども参考に、幾つか新しい項目も加えております。全ての項目について御説明したいところですが、お時間にも限りがありますので、主な変更点や新たに加わった項目などを中心に御説明させていただければと思います。

そうしましたら、ページをおめぐりいただいて、2ページ目を御覧ください。2ページ目のFの欄、2ページ目と3ページのF 1からF 8については、基本路線についてお聞きするものになっています。その中でF 1ですが、性別を聞く設問で「男性」「女性」に加えて、「その他」と新しく選択肢を加えさせていただきました。

続きまして、3ページ目の下の欄、問1と問2を見ていただければと思うのですが、こちらは「新規」となっておりますとおり、今回、新しく設定させていただきました項目となっております。

問2は、特に新型コロナウイルス感染症が日常生活、心と体の健康にどのような影響を与えたかをお聞きしているところです。東京都でも同様の設問を昨年のアンケートの中で設けておまして、ちなみに東京都の回答では、この中で一番回答として多かったのが、8番の「ストレスを感じるが増えた」という回答が一番多かったと、東京都のアンケートの中では書かれておりました。次に多かったのが、「運動など体を動かす機会が減った」でした。

続きまして、4ページ目をおめぐりいただければと思います。問3についても、新たに設定した項目となっております。こちらと同じように、東京都が昨年度実施したアンケート調査を参考に取り入れさせていただきました。こちらは、日常生活の中でどのような健康づくりの取組を実践していますかという御質問ですが、先ほどの東京都でやはり一番大きかった回答が、昨今のコロナウイルスの影響もありまして、1番の「マスクの着用や手洗い、三密を避けるなど感染症対策をしている」という選択肢が一番多かったです。

続きまして、同じページの4ページ目、問4を見ていただければと思います。問4の「各種検診について、この1～2年の受診状況をお答えください」という項目については、前回6年前のアンケートでもお聞きしているところですが、その下の問4-1、受けなかった方についてお聞きしている「受けなかった理由をお答えください」で、1つ、選択肢7番「コロナ等感染症が怖いから」という選択肢を増やさせていただきました。やはり、報道などでも皆さん御存じだと思うのですが、やはりコロナの影響でなかなか検診控えが令和2年、3年と続いていたところもありましたので、本市でもどの程度、市民の方々に影響を与えているのかを調査するために、この選択肢を設けさせていただきました。

続きまして、5ページ目の問7です。「生活習慣病予防のために気をつけていることはありますか」という項目です。こちらは前回のアンケートでもお聞きはしているのですが、新たに、5番の「睡眠・休養を取る」と6番の「酒やたばこを控える」という選択肢を増やさせていただきました。生活習慣病予防についての健康教室については、健康課でも年に数回実施させていただいていて、各種の医師の先生はじめ、保健師ほか様々な講師の先生を呼んで、講義と実技とを実践でやっているところですが、やはりその中で、生活習慣病予防に欠かせないのが睡眠、休養を取るだったり、お酒やたばこを控えると

ころを再三、講義の中でも説明させていただいていますので、そのところが市民の方にどの程度認知されているかをはかるために、新たに選択肢を設けさせていただきました。

続きまして、7ページ目と8ページ目。「休養・睡眠・こころの健康について」になります。こちらは基本的に前回と同様の設問項目を設定させていただいているのですが、幾つか、もともと前回聞いていました「あなたがここ1～2年の間に、死にたいと思うほど気持ちが落ち込んだことはありますか」という設問と、それから「小金井市のWEBサイト・メンタルチェックシステムを利用したことがありますか」という設問を今回削除させていただきました。というのは、健康課でもう一つの計画、今日も概要版としてお配りしていますが、自殺対策計画も健康課で所管しておりまして、こちらも来年度が現計画の最終年度となっていますので、来年度、アンケート調査と計画の策定に取り組む予定です。今、削除した2つの設問については、自殺対策計画のアンケート調査の中で加えさせていただこうと思っておりますので、今回のアンケートからは削除させていただきました。

続きまして、8ページ目の「飲酒・喫煙について」です。8ページ目の一番下、問23は新規の設問となっております。生活習慣病のリスクを高める飲酒量がどの程度のものなのかを、知っているか知らないかの内容になっています。

それに加えて、喫煙について、9ページを御覧いただいて、問24-1と問24-2を新規で加えました。「あなたが吸っているたばこ製品は何ですか」と「あなたは1日、何本吸っていますか。何年以上、たばこを吸っていらっしゃいますか」という設問となっています。1日何本吸っていて、何年以上というところで喫煙指数を調べさせていただいて、その数値を基に、参考にさせていただければと思っております。参考までに、喫煙指数の出した方として、1日に吸っている本数と何年吸っているかを掛けて数値を出すのですが、例えば1日20本吸っていて、それが20年続いていると、20掛ける20で、指数としては400になるのですが、400になりますと肺がんのリスクが、かなり高くなると、指数では示されているので、そのところを調べさせていただければと思っております。

続きまして、10ページ目です。「歯と口腔の健康について」の項目となっております。こちらで新設は、問31「歯周病が生活習慣病をはじめとする全身疾患に影響を及ぼすことを知っていますか」という項目を新たに加えさせていただきました。

続きまして、13ページの間42を御覧いただいて、こちらも新規で、東京都のアンケートの内容などを参考に加えさせていただきました。こちらはヘルスリテラシーに関する設問として、市民の方々が御自身の健康を守るため、どのような方法で健康に関する情報を得ているのか調査させていただきます。ちなみに東京都のアンケート結果では、一番多かったのが、テレビから情報を集めているが一番多かった。続いて2番目がインターネットでした。

雑駁ではございますが、アンケート内容について、御説明は以上とさせていただきます。

○小松会長 ありがとうございます。

ただいまの事務局の説明に関しまして、御質問ございますか。

○富永委員 僕は医師会の推薦なので、アンケートについてですが、僕がちょっと知識が足りないせいか、大学で健康について研究していますが、このアンケート自体は、健康というものを、どんなものとして定義して、どういう情報を集めたくてつくられたのかというのは、何かベースがあるのでしょうかというのが1つ知りたいことと、もしこのサーベイ目的でやったのであれば、サーベイをした後に何かを、目的というか、情報を集めた上で、こういう計画をすることが決まってい集めているものなのかどうか。アンケートの目的というのを知りたいと思います。

もし目的が、アンケートの内容が変わってしまうということは、何か目的が変わったのか、それとも、何となくこういうのを聞いてみたい、情報を集めたいというのだけでやっているのか、目的が、いまいはっきりしないところがあるので、先ほども、少し説明してくださって、こういう理由でこのアンケートの問題をつけましたというのですが、そこは具体的に、アンケートをする前に、まとまっているものなのかが知たくて、そういうところを教えてほしいです。

○石原健康課長 こちらもあまり煮詰められていないかというところがあります。いろいろな東京都の動きなどの、目立つところをぱくっと食いついて取っているようなところは確かにあります。その中で、どういうところまで持っていくかまでブラッシュアップは、まだ出来切れていないかというところがあります。

ただ、今までの健康増進計画の流れからいうと、やはり、検診を受けましょう、体を動かしましょう、生活習慣、心の健康という、大筋というか骨格みたいなところは、それほど変わってないので、特に今回の中で、感染症は今まで健康増進計画の中ではあまり注目はされてなかったもので、それをどう取り入れようかを手探りながら入れているところはあるのですが、つくった設問で、今まで聞いてなかったものについて、何かそれによって新しい施策を出そうというものについては、感染症の部分以外はそれほど、今の流れの中で施策とかを導く上で、施策の非常に啓発的なもの、結局、市民の方がどう行動するかに依存するところが多いので、計画の中で、健康教育をしていきましょうとか、周知を図っていきましょうというような施策面が多くなりがちなので、そういうアウトプットに生かせるのではないかというものをかいつまんで、そんな感じです。

○富永委員 何か健康というものが、病気がないということを経済として定義してしまっていて、それに対して情報を集めたいのか、例えば、健診の受診率が低いから、情報を集めて、健診の受診率アップにつなげたいのか、自殺率を調べて、自殺を予防するためにはこういう計画が考えられるねとしていけるの

かというふうに、先の、せっかくこういうサーベイランスを、やりました、よかったですね、こういうことを知りましたでおしまいになってしまうと、大変もったいないと思うので、もともとアンケートをつくる前に、これをどうするのか、先にアウトカムを決めてから、アンケートの内容をつくったほうがいいのかと、大学で研究を組むときは普通そうするものなので、こういうアンケートの設問をつくったのは、こういう理由でつくっていますみたいなことを、まとめて書かれるといいのではないかと。

○石原健康課長 計画の骨子とかも、今日お示しした、この骨子につながっていくというところをお見せできればよかったです、すみません、そこまで準備が間に合わなくて、現実にはアンケートだけという形で提示させていただきました。

○小松会長 では、ほかに御質問ございますか。

○小森委員 小森です。アンケートの3ページ目の2の健診、生活習慣病予防についての中の、問2のところ「あなたは新型コロナウイルス感染症の拡大により、心と体の健康に悪い影響がありましたか」という設問があるのですが、全体的には少数派でしょうが、健康になったという人も中にはいらっしゃるかと思いますので、ここは「あなたはコロナ前と比較して、自分の心と体の健康に影響ありましたか」という設問にし、具体的には「変わらない」「健康になった」とか、「自宅で料理をつくるが増えた」「家族と食事を食べる回数が増えた」「お酒を飲む量が減った」といった、ポジティブ要項を付け加えた項目にしたらいかがでしょうか。

○石原健康課長 御指摘のとおりかと思しますので、そこは設問の作り方を検討させてください。

○小松会長 ありがとうございます。ほかに御質問ございますか。

○黒米委員 すみません、1つ、多分これはミスプリだと思うのですが、4ページの間4の7が2つになってしまっている、これはミスプリかと。

あともう一つ、歯科の項目ですが、すみません、歯科医師会の黒米と申します。問30の3番、「1日2回」を、できれば「3回」にさせていただいたほうがいいのかという気がいたします。2番に「食後はすぐ歯を磨く」で、3番が「1日2回」だと何となく、一応、食事の基本は朝昼晩という形で皆さんにお話をしているので、3回にさせていただけるとありがたいかと、要望です。

以上です。

○小松会長 ほかに御質問はございますか。どうぞ、お願いします。

○堀江委員 7ページ、問16、睡眠に関して、何で十分に取れていないかと問いかけるアンケートで、項目が4つと「その他」を加えて5つしかないというところで、これだけの質問で、どんなことが見えてくるものなのかと。質問の意図が分からないでしょうか、説明不足と。例えばストレスのせいで眠れないとか、何か、そういうことを聞きたいのか、それとも、ただ、今の睡眠状態を聞きたいのか、何か

見えないところがあるような印象を抱いたので。

○石原健康課長 よろしいでしょうか。睡眠を聞くことで、何を知りたいのかというところで、自殺のリスク、ストレスリスクみたいな面と、あと、睡眠が取れないことによって体力というか体の機能が落ちるみたいなものと、狙っているものが、明確に整理ができてなくて、ふわっとしているかなというところはありますので、ここは、まさに先ほど富永委員がおっしゃったような、アウトプットを何にするのかというところと結びつけて、もう少し聞いていることが計画の、それを聞いてどう、それを予防していくみたいなものにつながるような質問を工夫させていただきたいと思います。

○堀江委員 ありがとうございます。

○富永委員 そうなんです。富永です。質問項目をつくるときに、どなたがつくられたか分からないですが、変数というのですが、数字の変数で取るのか、分類の変数で取るのかで、分かるものが変わってくるはずなのです。だからここで言う、「あなたが十分取れていると思っていますか」というのは、各人に聞いているわけではないですか。それで得られる情報と、1個目の何時間というところの、連続変数といいますが、それを取るの、アンケートを収集したその情報の使い方が全く違うのですね。

だから、まさに、何のためにこの質問をしているのかが定まってないから、こういうあやふやな質問になってしまっていて、それが全部にちりばめられているので、きちんとアンケート調査をつくるときには、連続変数で取りたいのか、区分というか、そういう違う変数で取って、その変数をどういう情報で扱って、どういうアウトカム、例えば、この区分では何人の人が、ここに含まれていて、こういう区分の1つを、いわゆる群集ですね、クラスターといいますが、クラスター、この層の年齢層の人たちはこう思っていて、こっちの層の人たちとは、こう違って、ここが有意、結果が違うから、こういうことが言えます。では、こうしましょうというふうにしていくものだと思います、アンケートは。だから、アンケートの情報を取る目的が最初がないので、こういうあやふやな質問項目ができてしまうということで、先ほど、目的を最初つくってからアンケートをつくらないと、ただ、やりましたで終わってしまいますということを申し上げました。

○小松会長 ストレスと言葉でいうと、精神的影響で眠れないこともあるし、例えばどこかに疼痛があって眠れないということもある、身体的な要素もあるので、様々な要因が、その辺はもう一回検討したいと思います。

ほかに御質問、お願いします。

○田中(達)委員 田中です。資料3の一番最後に、数値目標の中に、28年のアンケート調査として、かかりつけ歯科医のいる人の割合と、かかりつけ医がいる人の割合というのが、アンケートで尋ねているみたいですが、今回はそういう類いのものがないのですが、これは私の見方が悪いのか、何か理由が

あるのですか。

○事務局（永井） 聞き方として、ごめんなさい、分かりにくかったかとは思いますが、10ページの医療体制についてというところですね。この問34で「かかりつけをきめているものについてお答えください」という設問を設けさせていただいています。その中で、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、薬局を決めているかというところで、選択肢は設けていません。

○田中（達）委員 かかりつけ医の定義は何かあるのですか。

○石原健康課長 今、ぱっと出ないのですが、都医の広報紙の中にかかりつけ医の定義が、直近で出ています。

○田中（達）委員 コロナの最初の予防接種のとき、国とかでは、かかりつけ医のいる方はそちらでということでしたが、実際に開業しているお医者さんが、その患者が自分のかかりつけ医だと思ってない人もたくさんいたみたいで、予防接種を断われた方もたくさんいると思います。どういう定義で、国も市町村も患者も開業医の方も見ているのか、全く分からないまま推移して。そういう疑問があったものですから、単純に「かかりつけ医がいますか」と聞かれても、「よく分からない」が正解ですね。患者さんによっては専門性を、これは呼吸器内科だ、私は管理外科だ、普通の内科の方、行かない人もたくさんいるので、そういう方をもって、誰がかかりつけ医になるのか、3つにいつも行っていますという話もある。定義づけは難しいかもしれないが、そういう問題点があるということは。

○富永委員 そうですね、ただ、アンケートをつくられたときに、例えば、先ほど、「健康とは何か」というところを定義せずにつくってしまったら、こういう書く人の答えの精度が変わってきてしまって、かかりつけ医とは、こういうことですよというのを下につけないと、多分、答えることができなくなってしまいます。そのためには、かかりつけ医とは何かというところをきちんと定義すれば、大学の研究医の立場で裏打ちされた、きちんとした論文があるなら、そういう定義を詰めた上で、1問1問つくっていかないと、使い勝手も悪いかと。ほかの項目も多分全部、ごめんなさいね、誘導、気になってしまうのですが、例えば、「生活習慣病予防のために気をつけていることは何ですか」というときに、生活習慣病予防というのは、この設問は、これを聞きたいのか、情報を与えたいのか、あやふやな質問項目になっていたりする。これを、答えが出たところで、その情報をどう使うのかが全く見えない。1つ1つ言葉の定義を詰めていったほうがいいのかという気がします。

○小松会長 一応、定義としては、健康に関することを何でも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要などときには専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を提供する医師という定義にはなっているようですが、こう言われてもなかなかよく分からないと思いますので、その辺分かりやすく説明していただければと思います。

あと、ございますか。お願いします。

○緒方委員 7ページ、設問14番の「あなたは市民体育祭などの市が開催するスポーツに何が抜けていると感じますか」、それと、設問19番の「ストレスにあったときの対処法は」というところですが、その他の分類の16番に入るかと思うのですが、計画の理念に「自然とふれあい、みんなで楽しむ健康づくり」とうたっているため、何か項目の中で、自然に親しむとか何か入れていただけるとありがたいかと思いました。

○石原健康課長 19番は検討させていただきたいと思います。

○小松会長 ほかに御質問ございますか。お願いします。

○森戸委員 森戸です。先ほど医師会の富永さんからありましたが、設問とそれをどう、計画や行政の政策に生かしていくのかが見えない部分もあったりして、その辺りを整理していただければと思います。

それと3ページ、先ほどもあったのですが、問2で、新型コロナウイルス感染症の拡大の問題で、「悪い影響はありましたか」という聞き方は、やはりよくないかと。むしろ、「心と体の健康に影響ありましたか」ということで、「あった」「何」ということで、「あった人はどういうことでしたか」というような、もう少し丁寧な質問のし方が必要ではないかと思いました。というのが1つです。

それと、4ページの各種検診ですが、受けなかった理由というのがあって、「お答えください」とあるのですが、この中に、費用負担があるからというか、その辺りも項目に入れておく必要があるのではないかと思います。5ページで、「費用についてどう思いますか」という問はあるのですが、なぜ受けなかったのかということに、そういう設問を入れておいていただく、回答も入れていただければありがたいです。

以上です。

○事務局(永井) ありがとうございます。

○小松会長 今のことで追加しますと、例えば、5ページの間6で、一応無料とか500円とか、幾つか数字が書いてありますが、いいかもしれません。例えば、がん検診でも、大腸の検査が500円だったり、内視鏡検査が3,000円だという、それぞれもともとのかかる、検査によっての費用も違いがあるので、一概に500円とか1,000円というのは答えづらいかなという気もしますが、その辺も考えていただければと思います。

ほかに御質問ございますか。田中委員、お願いします。

○田中(智)委員 すみません、薬剤師会、田中です。

先ほどお話に出ていた、医療体制についての34番の設問も、選択肢なのですが、3番、かかりつけ

薬局と書いていただいているのですが、かかりつけ医、かかりつけ歯科医に対してだと、かかりつけ薬剤師になるのではないかと思うのですが。かかりつけ医院とかだと、かかりつけ薬局、言葉の定義ですが、一応、我々は大体使い分けて使っているので、ぜひ、そうしていただくと助かります。

以上です。

○富永委員 最初のページの表紙ですが、サンプリングの仕方ですが、無作為に抽出された18歳以上の市民2,000人と書いてありますが、どういうサンプリングするのか、送信して、返ってくるのを待つのか。そうすると欠損データとか交ざって返ってくるので、見てもらって、長いアンケートを、ずっと書いてもらうのか、それに対して何か、ありがとうございましたと何か渡すのか。その辺がないと、無作為というと18歳以上で、1,500人の75歳の人から聞きましたと、アンケートの意味が変わってくる、もともと目的がないから定まってないとサンプルサイズとかサンプリングの仕方も変わってくるはずですが、そこら辺を詰めて書かれたほうがいいと思います。なぜこのサンプルサイズになって、どういう無作為の抽出方法をするのか。でないと偏った情報が出てしまう、それが本当のように流れてしまうところはないかと思えます。

○小松会長 ほかに御質問ございますか。よろしいですか。

では、事務局から連絡をお願いします。

○近藤委員 1点だけ。近藤ですが。

○小松会長 はい。

○近藤委員 すごく細かいですが、問28に「COPDについて知っていますか」というのがあって、一番最後の41にまたCOPDについて同じ内容のことがあるので、これ、最初に答えがあって、また聞くのは、多分、東京都がきいているので、後ろの、これ東京都の写しとあるのですが、この辺も、先ほど富永委員がおっしゃったように、知っているか知らないかというのは、そもそも、今後の健康教育というか、それをやるための資料にしたいのかどうかで、こういう項目も考えないといけない。全体が多分これ、28年ですか、29年に1回同じような調査をしているわけですよね。その結果を多分、一度見せていただいて、どんなだったのだろうか、そもそもどういうまとめ方、多分ありますよね、冊子が。それで見ると、富永委員や皆さんおっしゃったように、そもそもこれ、そのときの、前回やっているからやりましたというのはすごく多いわけですが、そもそもその結果から何が得られたのだろうか。

本来的には、そのアンケートから計画をつくられたのですが、数値目標もあったのでしょうか。そのように本当になっていたかどうかというのは、私どもには分からないという気がしました。

○石原健康課長 アンケート結果については、皆さんと共有できるような形を考えさせていただきたいと思えます。

○小松会長 ほかに、御質問ございますか。よろしいですか。

では、今後の日程等に関して、事務局から、よろしく申し上げます。

○事務局（永井） まず、今いただきましたアンケートについての皆様の御意見は、また中で、加えられることは書き加えさせていただいて、反映させたものを、来週中ぐらいまでに皆様にお示しできたらと思います。

それ以外に、今日、皆様にいろいろな御意見を出していただきましたが、それ以外にもまだ御意見があるようでしたら、来週月曜、11月7日までに、事務局へメールでもファクスでも構いませんので、御意見いただければと思います。

私が、本当に皆様のおっしゃるとおり、不慣れなもので、確かにどういう目的を持って、健康増進計画をつくるので、どのような内容を市民の方々に聞かなければいけないかというところの、目的だったりとかがはっきりしていなかったことがあります。分かりにくい内容になってしまったのですが、そこも改めて、いろいろ皆様の御意見を聞きながら、つくっていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

アンケートについては、もし追加の御意見がありましたら、7日の月曜日までにご連絡ください。反映したものを来週中頃までに皆様に御提示します。

それから、この後、今年度の健康づくり審議会の開催について、御説明できればと思います。

通常、健康づくり審議会は年に2回、11月に1回と3月に1回、年に2回やっているところですが、今年度から計画の策定、アンケート調査なども策定に加わってきますので、今年度は年3回ということでやらせていただければと思います。

次の第2回目ですが、皆様に今日、机上配付させていただきました連絡票のとおり12月の中旬過ぎぐらいの日程でできればと考えております。

次の議題としましては、現計画、第2次計画の進捗状況、健康管理ということで、皆様に、主に令和3年度の進捗状況について御提示させていただいて、そのところで御議論いただければと思っています。次の第2回目の健康づくり審議会の日程については、連絡票にありますとおり、11月10日までに、この中で御都合のいい日に丸やバツをつけていただいて、事務局まで御返送いただければと思います。

第3回目については、3月、まだ3月中旬にするか下旬にするか、そのところはまた次回の健康づくり審議会の中で、皆様と御相談したいと思います。第3回目を3月にやりまして、ここの中で、アンケートの結果が戻ってきて、制度の結果が冊子としてまとまっていると思いますので、そのところを皆様にお示しできたらと考えております。

事務局から次回の日程というところでは以上です。

○小松会長 ありがとうございます。

特に最後、もう一言だけ言いたいという方はございますか。よろしいですか。

では、なければ、以上をもちまして、令和4年度第1回の市民健康づくり審議会を終了したいと思います。皆さん、ありがとうございました。